

## 【令和4年度 政策・調整会議】

件名：JFEスチール株式会社東日本製鉄所京浜地区の高炉等休止に伴う土地利用に係る基本的な考え方について

日時：令和4年11月15日（木）15：55～16：00

場所：第3庁舎18階 大会議室

### ●付議理由

戦略的な立地誘導により川崎臨海部の持続的な発展に寄与する新産業の創出を促進し、研究開発機能を中心とした高度な産業集積による拠点形成を目指すため。

### ●付議概要

#### 1 土地利用転換の目的

扇島の果たすべき役割、土地利用の方向性、基盤整備に関する川崎市の考え方などを取りまとめ、本市やJFEをはじめ、国や周辺企業、扇島への進出を検討している機関などの多くの関係者と共有することにより、川崎臨海部の長期にわたる持続的な発展に繋げ、市民の生活を支えるとともに、日本経済を牽引する効果的な土地利用転換を早期に実現するため。

#### 2 土地利用に係る基本的な考え方の位置付け

土地利用方針に位置付ける具体的な取組を考える上での認識、視点等を示すものであり、それらに関係者と共有し、土地利用の実現方策等について具体的な調整を進め、土地利用方針の策定に繋げるために取りまとめるもの。

#### 3 扇島及び周辺地区の果たすべき役割／土地利用の方向性

令和3年度と4年度に開催した扇島地区土地利用検討会議での学識経験者へのヒアリング結果等を踏まえ、次のとおり整理した。

##### (1) 扇島及び周辺地区の果たすべき役割について

###### ○ 扇島地区の果たすべき役割

『未来志向の土地利用を通じて、平時は川崎臨海部の発展だけでなく、我が国の重点課題の解決と国際社会におけるプレゼンスを高め、有事は首都圏を守る要となること』を目指すべき。

###### ○ 周辺地区の果たすべき役割

『現状の特性を活かしつつ、臨海部全体で求められる機能に寄与すること』を目指すべき。

##### (2) 土地利用の方向性

###### ○ 扇島地区の土地利用の方向性

「カーボンニュートラルを先導」、「首都圏の強靱化を実現」、「新たな価値や革新的技術を創造」、「未来を体験できるフィールドの創出」、「常に進化するスーパーシティを形成」を方向性として取りまとめた。

###### ○ 周辺地区の土地利用の方向性

『リサイクルをはじめとする産業の集積を活かした、臨海部の持続的な発展への寄与』と整理した。

##### (3) 基盤整備の考え方について

土地利用転換は、大規模かつ長期にわたる事業が想定されるため、将来の社会経済状況の変化に対応できるように、短中期的取組と長期的取組とに区分した段階的な整備を基本として検討する。

#### 4 今後の検討

本土地利用に係る基本的な考え方を示したうえで、国やステークホルダーとなる事業者等と調整を図り、「土地利用方針」を策定する。

### ●結論

報告内容について確認。